

スマイル通信

第2号 平成28年10月発行

日に日に秋も深まり、朝夕は次第に肌寒く感じるようになってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

スマイルでは、4月から9月までに延べ74名のお子さんにご利用いただいています。



はしか・RSウイルス
感染拡大

テレビ・新聞などで伝えられていますが、国立感染症研究所によると、全国で集団感染が発生した、はしかの今年の累計報告数が、10月5日現在、145人にのぼっています。また、乳幼児では、RSウイルスの感染も拡大していて10月5日現在まで、5,463人にのぼり、過去10年で最多となっています。

富山県内では、富山県感染症情報センターによると、10月5日現在の県内上位3疾病は、1位 感染性胃腸炎、2位 流行性耳下腺炎、3位 RSウイルス感染症となっています。そこで今号は、秋冬に注意したい感染症について紹介します。

インフルエンザ

感染力が強く、集団流行する病気

- 症状**：40℃前後の高熱を発生し、悪寒やのどの痛み、せき、鼻水のほか、関節痛や筋肉痛などを伴うのが特徴です。下痢や嘔吐などの症状が現れることもあります。症状は3～4日で軽減し、せきなども1週間程度で治まりますが、場合によっては中耳炎や気管支炎、肺炎、脳炎、脳症などを起こすこともあります。
- 治療・予防**：下痢を起こすと脱水症状になりやすいので、水分補給に注意してください。子どもだけでなく家族も予防接種を心がけましょう。
- 登所基準**：発熱後5日間及び熱が下がって3日たつまで登所できません。

感染性胃腸炎

脱水症状を起こさないように水分補給を

- 症状**：激しい嘔吐の症状が突然現れ、下痢がそれに続きます。ロタウイルスの感染による場合、便が白っぽくなることがあります。高熱を発生したり、食欲がなくなったりしますが、症状は2～3日から1週間程度で治まります。
- 治療**：激しい嘔吐や下痢が続くので、イオン飲料、湯冷まし、お茶などで十分に水分補給をし、脱水症状にならないようにします。ロタウイルスやノロウイルスは流行するので、手洗いなどの注意が必要です。
- 登所基準**：下痢・嘔吐・発熱の症状が治まり、普段の食事ができれば登所できます。

RSウイルス感染症

集団流行する呼吸器系の感染症

- 症状**：鼻水やせきなどの症状で始まります。熱は出ないこともあり、ヒューヒュー、ゼーゼーといった呼吸器の症状が強くなるのが特徴です。
- 治療**：今のところ、RSウイルスに対する根本的な薬はありません。早めに受診し、安静にして、こじらせないようにすることが第一です。
- 登所基準**：症状が消失し、状態が良好であれば登所できます。

マイコプラズマ感染症

頑固なせきと発熱が主症状

- 症状**：乳幼児では、かぜの症状で終わることが多いのですが、年長児以降では気管支炎や肺炎になることが多いようです。通常、頑固なせきと発熱が主な症状です。
- 治療**：レントゲン撮影により診断ができます。マイコプラズマによく効く抗生剤を飲めば比較的早く治ります。
- 登所基準**：発熱がなく激しいせきがないことが必要です。

登所基準について

- ★インフルエンザは学校保健安全法により、**保育所出席停止**の期間があります。
- ★感染性胃腸炎、RSウイルス、マイコプラズマ感染症は登所基準を参考に、かかりつけの医師とご相談ください。

秋・冬の生活ケアと感染症

室温と保湿、手洗いで、冬を健康に過ごそう

寒く乾燥するこれからの季節は、インフルエンザなどのウイルスが元気になる季節です。秋冬のウイルスの感染症の大きな特徴は、呼吸器に症状が出やすいものが多いということです。せきやくしゃみによる飛沫感染のものが多いため、年齢を問わず流行します。他にも、ロタウイルスやノロウイルスによる感染性胃腸炎なども乳幼児を中心に冬から春先に多く流行します。

毎日の生活の中で、温度や湿度、換気など室内の環境や、服装、手洗い、スキンケアなどに気を配りましょう。

秋・冬を快適に過ごすためのポイント

★室温は暑すぎず、寒すぎず

22～24℃を目安に、動きの少ない2歳児までは高めに、活発な3歳以上児は低めに設定するといいでしょう。

★湿度は60%前後に

乾燥しやすいので、加湿器などを上手に使い、湿度を保ちましょう。インフルエンザの増殖しない湿度です。

★換気もこまめに

寒すぎない程度に、1～2時間に1回ほど定期的に窓を開け、部屋の換気をしましょう。

★子どもの状態にあった服装に

子どもの体調によって衣服を調節するようにしましょう。室内では、はだしでも、靴を履くときは、靴下を履いたほうがよいでしょう。

「スマイル」では、お子様の症状や様子に合わせて経過していただいております。初めての方にも安心してご利用いただけるよう「スマイル」のご利用や保育内容についてお知らせします。

スマイルの1日の流れ

来室...受け入れ...検温...自由遊び

お子様の病状、診療情報提供書、お薬、食事の内容を確認し、利用申請書の記入などを行います。保育室に慣れるように、一人ひとりのお子様とゆっくりとかかわります。
*少し時間の余裕を持ってお越しください。

おやつ...自由遊び...指導医の回診

子どもの体調や年齢に合わせて遊びを過ごします。指導医の診察があります。



*体調がすぐれないお子様はゆっくり休んでいただきます。



検温...お薬...昼食

お昼のお薬を内服します。お子様の体調に合った食事を提供します。お弁当などを持参されても大丈夫です。



検温...お昼寝

安静に過ごす時間です。年長児や小学生でお昼寝の習慣がないお子様も、お布団で安静にさせていただきます。



おやつ...検温...自由遊び

好きな遊びをして、お迎えを待ちます。

お迎え

当日のお子様の病状、様子などお伝えします。

TEL: 83-2155

朝日町病児保育室

スマイル